

南北に長い地勢、温暖な気候といふ好条件
 のお蔭で、わが国は、世界でも稀な多産類
 で変化に富んだ食品に恵まれて来た。四季折
 々、時に応じて旬の食物を口にすることの出
 来るわれわれは、他の諸国に類のない口福の
 民だといふべきであらう。
 江戸の頃、口福の春は、まず白魚から明け
 たようである。
 白魚は、繊細な姿と、淡い
 味で、こころほか江戸の人々に愛された
 ようだ。また大川（隅田川）で白魚漁が盛ん
 に行われていた頃、それは、江戸の春の
 光景であり、歌舞伎のせりふ
 にも読み込まれる景物であった。
 春はまた芽ぶきの日で、さまざまの山菜が
 食卓を賑わす。
 食えくさいものといふなら、山菜のほ